

質問 操法大会より現場で役立つ訓練を

町長 災害対応訓練の重要性が高まっている



内田 雅人 議員



操法大会を過度に意識した訓練が
団員減少の一因と指摘されている

質問 総務省の消防

団員の処遇等に関する検討会で、操法大会訓練が団員の負担となり、参加の阻害要因となっていると指摘された。本町でも同様だと考える。消防操法大会の見直しについての見解と対応は。

総務課長 町として5月に奥出雲消防署

から見直しの説明を受けた。消防団と協議する。

質問 近年の災害の

多様化を踏まえると、火災以外の災害に対応する訓練の必要性が指摘されている。ほ町は風水害と豪雪が多いが、操法大会の訓練よりも地域の実態に即した、災害現場で役立つ訓練に

シフトするべきではないか。

町長 操法訓練も現場で安全に活動するために重要であり、一方で火災以外の災害対応訓練の重要性も高まっている。多様化していると認識している。

中学校再編の必要性についての考え

質問 中学校の再編の必要性についてどう認識し、今後の方針はどうか。早く明確に示した方が

良いのではないか。

教育長 県内では通学時間が長くなる理由で小規模校も再編

統合されていないが、今後中学校の在り方は後手に回らないように検討する課題で

ある。検討委員会などへ諮問し、手順を踏みながらやっていく必要がある。

再質問 今の学校再編推進課での検討課題という認識か。

教育長 まず小学校再編を進める中で、中学校も検討課題に入ってくると考える。

地域包括ケアのために連携強化を

質問 医療介護福祉を一元的に最適化するケアシステムが必要であることは間違いないが、医療施設からも福祉施設からも仕組みづくりが進んでいないとの声を聞く。

打開できないのは事業所間の潤滑油の役割を、行政が果たせていないということ

とだ。今後、協議や検討会は加速されていくのか。

健康福祉課長 コロナ禍により協議が難しい状況だったが、今後可能な限り話し合いを重ね、関係者間の機運醸成を図っていきたい。

質問 担当職員がひとりでは本当に足りる

のか。ベースができるまで人力的にも強化すべきではないか。最大の支援は人員強化ではないか。

町長 ひとりでも課内で縦横のつながりを持つて進めているので、職員が不足している認識は無いが、今後の進み具合によっては増員も検討する。